

全国交流ウォーキング 伊豆の踊子歩道を歩く

日時：9月31日（土）～10月1日（日）

日程：【1日目】 神奈川ウォーキングクラブ 10,000歩 約7km（伊藤自宅含め13,000歩）

東神奈川イオン前 8:00 出発 → 小田原駅 9:10 → 大室山（バス） → 城ヶ崎海岸（散策）
 → ボラ納屋（バス） → なぎさ公園 → 東海館見学・伊東駅（バス） → ホテルサンハトヤ

【2日目】 全国ウォーキングクラブ 朝食 6:45～ 「Aコース」 約8km

ホテル発 8:00（バス） → 浄蓮の滝 → 水生地下P → 伊豆の踊子文学碑 → 旧天城トンネル

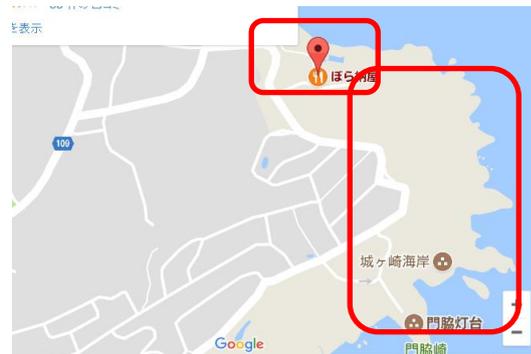
→ 二階滝 → 猿田淵 → 釜滝 → エビ滝 → 蛇滝 → 初景滝 → カニ滝 → 出会滝 → 大滝 → 河津七滝観光センター

<解散予定 14:30> ・神奈川だけで修善寺へ<修善寺・竹の小路など散策>

→ バスで東神奈川 19:30 到着予定 18,000歩 約13km（伊藤自宅含め20,000歩）



【一日目地図】 「大室山」「城ヶ崎海岸」「ボラ納屋・なぎさ公園」



全国交流ウォーキング【伊豆の踊子歩道を歩く しおり神奈川版】

1日目：東神奈川イオン前8時出発→小田原駅9：10出発→大室山（バス）→城ヶ崎海岸（散策）
 →ボラ納屋→（バス）なぎさ公園→東海館見学・伊東駅（バス）→ホテルサンハトヤ
 18時30分より夕食・・・大聖竜大宴会場（本館5Fに連絡通路あり）

★宴会での飲み物（神奈川のバスグループ）2人でビール1本・ソフトドリンク1人1本 追加として同量有
 ～20時40分より自主交流会場へ～

- 海外ウォーク（919号室） ●疲労回復マッサージ（930号室）
- 伝助（1030号室） ●仲間を増やす（1019号室） ●集中ウォーク（1119号室）
- 地酒・雑談（1130号室） ●ホテルライフを楽しむ

【サンハトヤ部屋割り】

全国ウォーキング協議会 踊子歩道参加人数 2017/9/5 現在				男性19名（神15・新横2・川崎2）				
連番	県名	申込書参加団体	人数	部屋番号	1	2	3	4
1	岩手	盛岡ウォーキングクラブ	5	1115	佐藤繁	勅使河原	平野	高橋文
2	宮城	あしがる会	18	1127	神谷	伊藤真	森山	新谷
3	千葉	千葉ウォーキングクラブ	1	1128	大平	小林	青松	市村
4	東京	東京・ウォーキングクラブ	12	1129（地酒予備）	佐藤伊	福田清	川崎	川崎
5	神奈川	川崎ウォーキングクラブ	10	1130（地酒）	藤本	高橋辰	平石	
6		神奈川ウォーキングクラブ	37					
7		新横浜ウォーキングクラブ	4					
8	富山	富山ウォーキングクラブ	6	女性26名（神22・新横2・川崎2）				
9	石川	いしかわウォーキングクラブ	11	1116	奈良	奥村	木村	高橋友
10	福井	福井ウォーキングクラブ	7	1117	河野	福士	金子	福田雅
11	静岡	遠州ウォーキングクラブ	15	1118	深瀬	藤原	清水靖	山川
12	滋賀	びわこウォーキングクラブ	7	1119（集中）	平嶋	中村	長井	
13	三重	三重ウォーキングクラブ	4					
14	奈良	ならウォーキングクラブ	3	1028	大上	熊島	井口	橋本
15	兵庫	兵庫ウォーキングクラブ	1	1029	加藤尚	福田恵	坂上	古田
16	和歌山	和歌山ウォーキングクラブ	25	1030（伝助）	吉越	熊坂	常盤	
17		和歌山県ウォーキング健脚同好会	4					
18	福岡	福岡ウォーキング協議会	6					
合 計			176					

前夜祭式次第 実行委員 18時集合 司会進行：新横浜 加藤直美・藤本貴

18：30：実行委員長あいさつ 川崎 佐藤静雄 吉越全国ウォーキング協議会理事長

18：35：乾杯 千葉 浅沼義明 しばらく食事と歓談

19：00：各クラブ紹介 その場で立ち上がって

20：30：お開き

今回全員同じホテルで、宴会場は畳座椅子席でしたので、食事後の移動は少なく、粛々と予定通り進行しました。

「バス座席表」

伊豆参加者名簿 新横4名(男2・女2) 千葉1名(男) 神奈川37名(男16・女21)					
バス座席表 42名 (席数45+1)					
入口			運転席		
1	平嶋美保子	中村 年代	補助席	熊坂 和子	河野 陽子
2	高橋 文雄	平野 光男		吉越 悦子	大上あい子
3	常盤貴恵子	木村 邦子	1班	奥村 晴子	山川 民子
4	清水 靖子	深瀬富美子		福士 和子	長井 千代子
5	藤原 和子	熊島八重子		橋本京子(一般)	井口 佳子
6	高橋 友子	奈良 弘美	3班	勅使河原太蔵	新谷 猛司
7	福田 清	平石 一男		福田 雅子	金子満智子
8	佐藤 伊亮	森山 慶雄		加藤尚美(新横)	福田恵子(新横)
9	青松 秀雄	市村 芳雄		高橋 辰治 (神奈川・新横)	浅沼 義明 (千葉)
10	伊藤 真純	神谷 順市			佐藤 繁
11	大平 洋		藤本 貴 (新横)		小林 俊平
班 長					
1班・木村邦子 2班・奥村晴子 3班・奈良弘美 4班・勅使河原太蔵					

後部座席飲み物他置き場

全国交流ウォーク 伊豆の踊子歩道を歩く 2017年10月1日(日) 常に出発順を考慮して行動してください

行程表 (時間は先頭グループの時間で、遅れながら歩を進めず、遅くとも15時30分までに集合) (集合場所は、伊豆の踊子観光センター)

行先 伊豆の踊子観光センター (10時00分集合) 伊豆の踊子観光センター (10時30分集合) 伊豆の踊子観光センター (11時00分集合) 伊豆の踊子観光センター (11時30分集合) 伊豆の踊子観光センター (12時00分集合) 伊豆の踊子観光センター (12時30分集合) 伊豆の踊子観光センター (13時00分集合) 伊豆の踊子観光センター (13時30分集合) 伊豆の踊子観光センター (14時00分集合) 伊豆の踊子観光センター (14時30分集合) 伊豆の踊子観光センター (15時00分集合)

必携物 急な階段が多いので手袋(A) レインウェア上下 トッキングシューズ着用

注意事項 二階滝Pから水垂までは神奈川バスを先頭に、揃った順に自分の車・バスで移動。水垂バス停ではすみやかに下車し、歩き出すこと。Bコースの人は降りてはいけません。※チャーターバス乗車クラブは概算50人(人数報告)計39名

バス座席表

Aコース(午後) 歩く時の順番

Aコース 水垂バス停→猿田沼→登滝→エビ滝→蛇滝→出合滝→カニ滝→初景滝→大滝

Bコース(午後) 歩く時の順番

Bコース 大滝→出合滝→カニ滝→初景滝→蛇滝→エビ滝→登滝→猿田沼→水垂

旧天城トンネル共通コース出発順(午前)

共通コース(水生地下P～二階滝P)

ホテルから浄蓮の滝への出発順

1番と7番を除き人数が揃った後から出発。揃ったら中村が連絡を飛ばす。

電話! 道路を横断せしめ橋の下を歩く

連絡先 伊豆の踊子の手文字1番と7番 090-1115-4849 吉越 090-2750-0024

【一日目】 7:30 東神奈川イオン前幹事のお迎え



10:08 車窓から見るホテルと城



9:45 トイレ休憩「ドライブインみのや吉兵衛」



10:36 ホテルサンハヤトを横手に見ながら通過



【大室山】 11:14 到着 リフトに乗る 往復団体割引 ¥450 全体の山 (HPより引用)



火口盆地はアーチェリー



伊豆の乳房とも呼ばれる柔らかな曲線、どこから見てもお椀を伏せたようなシルエットが美しい標高 581m の山頂に直径 300m の噴火口を持つ休火山・大室山。全長 (片道) 305m、高低差 139m、片道約 4 分のペアリフトで登る頂上からの相模湾・富士山・天城連山を望む 360 度の大パノラマは最高です。また、山頂・噴火口で楽しむアーチェリーも人気です。

まさしく上記説明通りでした。歩行登山禁止。5 年前別グループ幹事で、サボテン公園から大室山を眺めた。登山は初体験でした。

頂上から見る 真下にはゴールド川奈 c c お鉢めぐり約1km一周した

写真説明は看板でどうぞ



大室山から伊東市街方面を見おろすと、なだらかな高原と、小さな丘の群れが見えます。これらの丘はすべて小さな火山です。約15万年前から伊豆半島東部のあちこちで噴火がおき、小火山のあつまり（伊豆東部火山群）が作られたのです。

足元の大室山も、伊豆東部火山群の一員です。約4000年前の噴火で大室山から流れ出た溶岩が、手前のなだらかな高原（伊豆高原）をつくりました。

遠くに見える一碧湖も、約10万年前の噴火によってできた火口湖です。ひときり目立つ丘は、約1万5000年前の噴火でできた小室山で、大室山とならぶ伊東のシンボルです。

スコリア丘とは、火口からマグマが噴き上がってできたスコリア（塊状で多孔質のものうち暗色の石）が、火口の周囲に累積し、円錐台の丘を形成したものである。大室山スコリア丘では、底径1km、比高300mほどの山体を有し^[3]、その中心に直径250m、深さ40mのスリバチ状の火口を持っている^[2]。また、南斜面の標高450m付近にも、直径50mほどの小さな火口もできている^[2]。山体の最高地点は火口の南側の火口縁で三角点が設置されている。

「三角地点」

八ヶ岳地蔵尊



八ヶ岳地蔵尊

海上安全・海難防除・大漁祈願のため漁師の人達によって建てられた。ここに立って海上を眺めると伊豆半島から房総半島を一望におさめることができる。近代装備を持たない昔の漁師は、八丁櫓で威勢よくこの海へ乗り出し、大室山を目前にして最良の漁場を定めた。

現在の地蔵尊は昭和五十九年に地元地区民の寄付により再建された。奥にあるのは以前の地蔵尊である。

大室山浅間神社

五智如来地蔵尊



五智如来地蔵尊

この五智如来地蔵尊は、寛文の初め頃（一七六二年）相州石村（神奈川県足柄下郡）の網元、朝倉清兵衛の娘が九歳で身ごもり、その安産を大室山浅間神社に祈願したところ、無事安産したので、「おはし」と称してお礼に、真鶴石で五智如来蔵を作らせ、船で城ヶ崎の富戸港に運び、富戸の強力兄弟が、一体を三回に分けて背負い、計十五回で現在地に安置されたと伝えられています。

昔から願い事をかなえて下さる優しい心の神様として、伊豆・相模附近の方々の信仰が深く、特に安産と縁結びの神様として参詣が多い。

ゴールド川奈GC

遠くには伊東CC

山焼き（HPより引用）



大室山の山焼きは700年以上の歴史がある^[9]。過去には質の良いカヤを手に入れることが目的だった^[9]。山焼きは毎年2月の第2日曜日に行われ見物客を集める。有料ではあるが先着順で着火に参加することもできる。ただし山焼きは天候により順延することもある。

リフト乗り場の丁度反対側からの写真

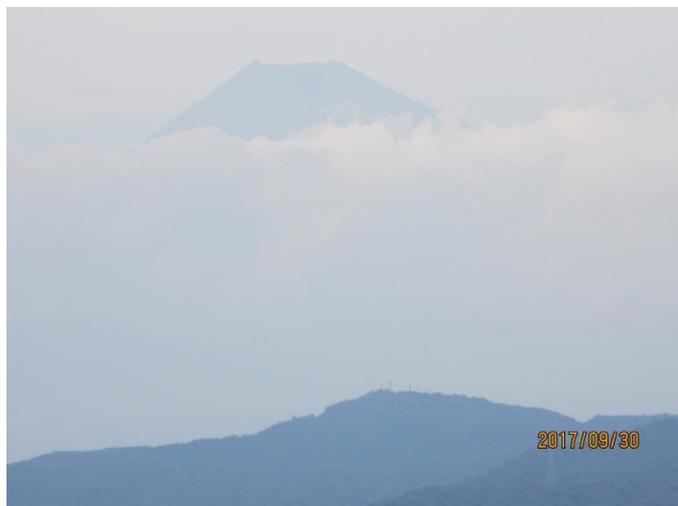


富士山が見えた！

11:45~12:00 展望休憩所で昼食



川奈ホテルとゴルフコースか？



12:05 眼下にゴルフ場を見ながらリフトで下る



リフト駅前に 浅間神社の鳥居



今は必ずリフトに乗らないと参拝できません。

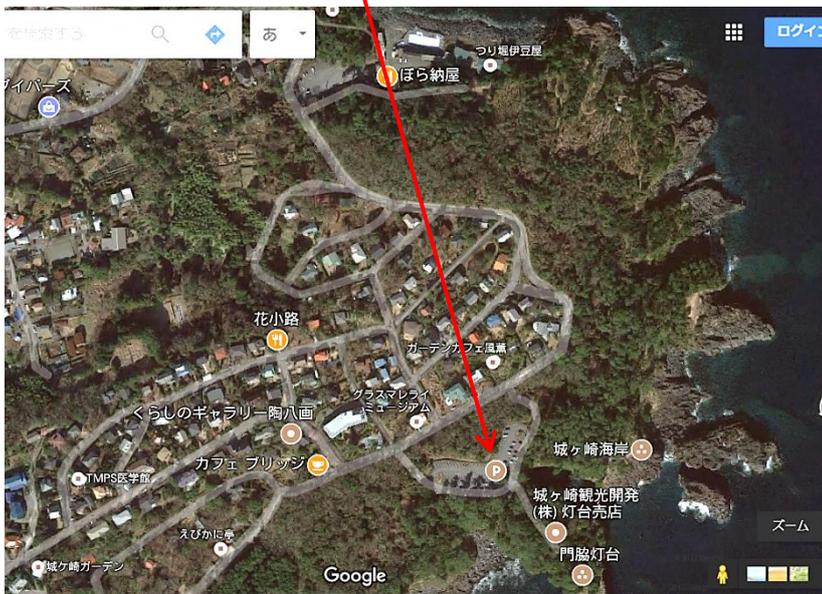
大室山の麓にはシャボテン公園があり、ここは体験済。

山から海岸へ！城ヶ崎海岸散策です！

【城ヶ崎海岸】 13:00 スタート 白浪しぶきが素晴らしい 入り江が沢山有る



「城ヶ崎海岸航空写真」駐車場①スタート、灯台から絶壁の海岸を歩く (吊り橋付近航空写真 HPから引用)



山道も歩きます



自然が作り出した曲線美林、赤いリュックが花となる 絶壁崖上の歩道から青い海と入り江の白波しぶき最高!



自然は「穴口」も造ります



松の曲枝から小岩の浜を見る

丸い小岩浜とそそり立つ海岸

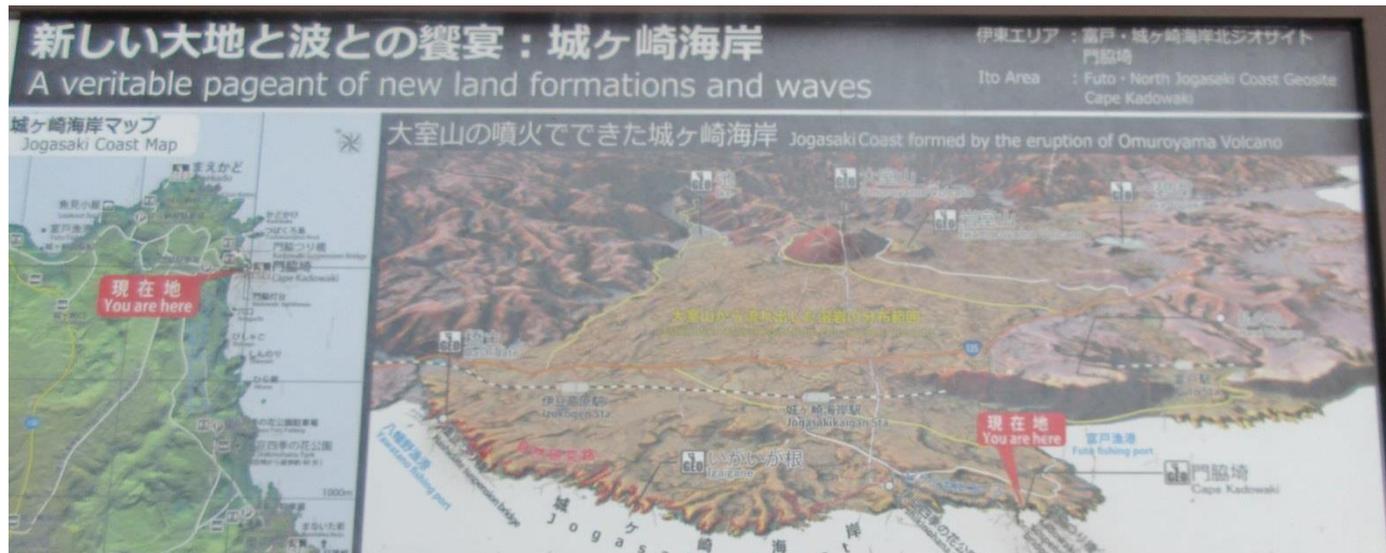


伊豆半島伊東市の城ヶ崎海岸は、大室山から流れた溶岩で作られた溶岩岩石海岸で、迫力ある断崖絶壁が連なり人気を呼んでいます。特にその断崖絶壁に架かる門脇吊橋は有名です。先ほど登った大室山に関係有りました。

城ヶ崎海岸には小さな入江、半島が沢山あります。磯遊び魚釣りにも最高でしょう。



「新しい大地と波の響演：火山の噴火でできた城ヶ崎海岸」説明看板：大室山火山と城ヶ崎海岸、地質の学習



自然が創り出す彫刻美、スケールが違います。

休憩所のある岬の岩から眺めました



名物「門脇吊橋」

吊橋背景に、次頁集合写真時岩下におられたた5人、カラフルですね！



【集合写真】 狭い岩に立つ伊藤カメラマンも滑り落ちしないよう要注意でした！



今日は天気に恵まれて最高でした。もし雨風でしたら大変なところでした。



登り石段もありますがKWCヘイチャラよ！斜め歩き登りいいですよ！ 古木に若い松も枝ぶり良く育っています



「黒船防備砲台跡」



模型は様になりませんね



江戸末期外国に対する軍備始まり

黒船防備砲台跡

嘉永年間(1848~1854)黒船の来航により、鎖国の夢をやぶられた徳川幕府は日本の防備を図るため葦山代官江川太郎左衛門英竜に、江戸を囲む、伊豆、相模、下総、上総、安房の5ヶ国の海辺防備と巡視を命じた。この防備にあたり、沼津藩の水野氏は海防上の要所である伊東の富戸、川奈に夕顔型、円柱型の大砲それぞれ4門を備えた。その後大砲は下田に移し、今ではその跡をとどめるのみである。なお煙硝には伊豆の硫黄燐鉱が用いられた。

「こざり」



お見事！白波しぶきと青い海、枝ぶり良好松で形整え！



「ぼら納屋」で集合写真 茅葺屋根は素晴らしい、中を覗いてみました。下の写真の様なレストランです。



「ぼら納屋は食堂内」 ぼら納屋は寛永3年〈1627年〉に紀伊家（現在の和歌山付近）が建築し、その後数度増改築が行われました。



ここのぼら漁は徳川幕府の保護のもとに紀伊家直営で操業され、ぼらが回遊する頃（3月～5月、9月～11月）には村人が船や網の手入れをしながら住み込み、ホラ貝や旗を合図に百人以上の村人たちが勇壮に出漁した根拠地です。（HPから引用）

ぼら納屋のメニュー 14:10 7,000歩

【なぎさ公園】 14:40



昭和52年に伊東市制30周年を記念して、地元彫刻家・重岡建治氏の「家族」と題した彫刻をメインに、重岡建治氏の彫刻が数点展示され、伊東市民の平和と幸せを希求する姿をシンボル化した公園として整備されました。(HPから引用)



【東海館】見学。東海館は、昭和3年に庶民の温泉宿として開業し、沢山の方々に親しまれ大いに賑わいました。



当時の職人たちが腕を振った自慢の建物は、桧や杉などの高級な木材や変木とよばれる形の変った木々をふんだんに用いた美しい和風建築です。廊下や階段、客間の入り口など、館内随所に職人たちの手工を凝らした建築美がいきます。今や貴重となった伝統的な日本の建築様式を心ゆくまでご覧下さい。



屋上からの眺め



「伊豆の踊子」姿の司会者、加藤さんと藤本さんを挟んで福田さんと高橋辰治さん（全員新横）吉越理事長挨拶



遠いKWC席からの望遠撮影ですのでピンボケしていますが悪しからず。

神奈川ウォーキングは37名参加、小生も浴衣組 4ヶ所に分散 代表して高橋文さん挨拶



神奈川チーム紹介中 皆さん正装でした

お一人？



「料理」 飲み物は2人でビール1本、ソフトドリンク1本 追加として同量有、足りず神谷さんと日本酒2本

【自主交流会】「地酒&おしゃべり」に参加するも、8：40に行くと既に始まり盛り上がっていました。



昨年も交流した富山組林さんと瀬川さんの間に座らせて戴きました。高岡に勤務して晩酌にしていた「立山」を懐かしくおいしく戴く。女性の多いのには驚き。



お酒は会食時ビールの後に飲むのが最高です。会食の時飲まなければよかった？小生は3日前訪れた茅ヶ崎熊沢酒造蔵出来立て9月製品を持参。メンバーの写真を紹介しますので雰意気を！どうぞ。会場1130号室の藤本貴、高橋辰治さん、隣からテーブルを運ばれ2卓で広々としていました。酒の運搬から設営、幹事役遅くまでご苦労様でした。翌日帰りバスの中でも大変お世話になりました。改めて感謝！

【浄蓮の滝】浄蓮の滝に向かう。過去数回行来しているが、急階段を下りてみる。ワサビのお店に歓迎されて滝口に。水量は相変わらず勢い良く流れ、しぶきをあげていました。滝は狩野川の上流部、天城山の北西麓を流れる



本谷川にあり、1万7000年前に伊豆東部火山群の鉢窪山スコリア丘が噴火した際に流出^①した玄武岩溶岩流を流れ落ちる直瀑である。落差は25m、幅は7mで岩盤には柱状節理が見られる。かつて滝の付近に「浄蓮寺」という寺院があったことから「浄蓮の

滝」という名称がついたと伝わる。

女郎蜘蛛の精 - 滝壺にはジョロウグモの化身が棲むとの伝説がある。「むかし樵夫が、落とした鉈を探しに滝つぼの中に入ると美しい女性と出会う。その女性と姿を見たことの公言をしない約束をしたが、「滝の主は女郎蜘蛛だ」と村人から聞き、その出来事を話すと樵夫は深い眠りについた。」(HPから引用) 後続部隊多く複数人物入り写真難しい。

ここからの撮影もポイント

佐藤伊亮さん撮影で伊藤も証拠写真 苔岩と落ち葉、木の根

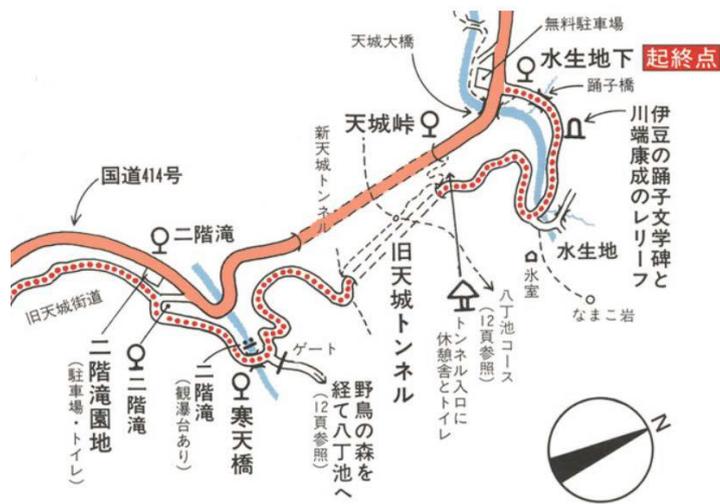


「水生地下」スタートいよいよ天城越えです 川端康成記念碑小説「伊豆の踊子」で地元には川端さままです



「水生地下」→「旧天城トンネル」→「寒天橋」→「二階滝」→「二階滝駐車場」

緑の整備された道路、お手々繋ぐ必要ありません！



10:18 旧天城トンネル到着<踊子と学生>よくお似合いです。



旧トンネル：1905年
開通。幅4.1m（車幅
3, 5m）高さ4.2m
445, 5m長さ
新トンネル：1970年
開通 標高708, 74
m
(HPから)

旧天城トンネルを背景に、踊子と学生さんを囲み1班集体写真



「寒天橋」

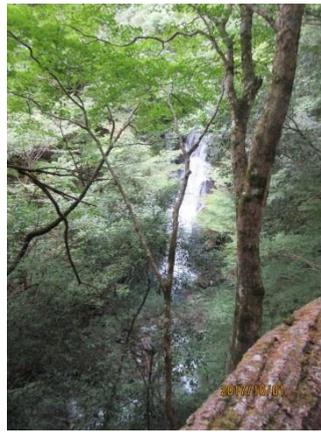


隠しきれない 移り香がいつしかあなたに しみついた誰かに盗られる くらいならあなたを殺して いいですか
寝乱れて 隠れ宿九十九折 浄蓮の滝舞い上がり 揺れおちる 肩のむこうにあなた…… 山が燃える
何があっても もういいのくらくら燃える 火をくぐりあなたと越えたい 天城越え

【寒天橋】



【二階滝】



「二階滝駐車場」 11:05 到着 9,400歩 ここで昼食 12:05 出発



トラブル発生、トイレの水が出ない。急遽予定変更。
当初二階滝駐車場から水垂バス停車、猿田淵から、河津七滝を見学予定。変更して、河津七滝観光センター駐車場に行くことになった。ここからスタート。

【河津七滝】^{ななだる} Aコース1班 神谷L 市村SL 含め34名 (神奈川29名、千葉1名、新横浜4名)
バスで「河津七滝観光センター」女性トイレ渋滞長蛇の列。コース組み換え再編成、一組最終出発。



1班七滝 (七だる) コース見学順実績 (滝見学終了時点での時間と歩数)

① 大滝 (落差 30m・幅 7m)	12:57	10,740歩
② 初景滝 (落差 10m・幅 7m)	13:15	12,040歩
③ 蛇滝 (落差 3m・幅 2m)	13:30	12,360歩
④ 釜滝 (落差 22m・幅 2m)	13:40	12,760歩
⑤ エビ滝 (落差 5m・幅 3m)	13:42	12,780歩
⑥ カニ滝 (落差 2m・幅 1m)	14:05	14,000歩
⑦ 出合滝 (落差 2m・幅 2m)	14:15	14,600歩
河津観光センター	14:25	15,070歩

約1時間半 5,700歩

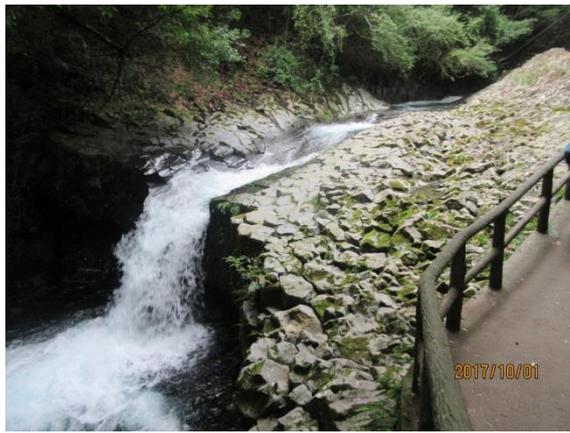
一班はスタート南端①大滝に行き、⑦出合滝、⑥カニ滝を飛ばして、②初景滝へ

① 大滝 宿には混浴露天風呂あるようです ②初景滝 幅広くモデル元学生さんにピッタリ



右にも小滝があります

② 蛇滝 曲がりくねっていました 登り尾南華山の溶岩、伊豆半島が海底火山だった頃の地層が見られる滝



通常、「滝」という漢字は「たき」と読むが、河津七滝では「たる」と読む。平安時代から伝わる民俗語が由来である。ただし、「河津七滝」およびその7つの滝の名称は「だる」と濁った読み方をする。(HPより引用)

④釜滝 柱状節理の岩がきれいです ここで休憩され③④⑤カットされた方数人 ⑤エビ滝 海老の尾びれ



③ ⑤はこの釣り橋を渡る (帰り道の写真)

懐かしい映画と言うことは・・・年を取ったと言うことか・・・



川端康成の名作 伊豆の踊子
踊子と学生が歩いた道のりを辿る。
時代のヒロイン主演で映画化6回
第一回 昭和8年 田中絹代・大日方伝
第二回 昭和29年 美空ひばり・石浜朗
第三回 昭和35年 鰐淵晴子・津川雅彦
第四回 昭和38年 吉永小百合・高橋英樹
第五回 昭和42年 内藤洋子・黒沢年男
第六回 昭和49年 山口百恵・三浦友和

⑥カニ滝

⑦出会滝 二つの滝が出会う 左は本流 (男か)、下は支流 (女か) 合流



合流点（左は緩やかで、右は落差有急こう配）



ここで仲良くラブラブ確認！



13:45 初景滝背景「踊子と学生像」を囲んで、集合写真。カメラマン滝のガイドさんで伊藤も入れました。



「河津七滝（河津七だる）伝説」の学習（HPより）

河津七滝にはヤマトノオロチ伝説とよく似た大蛇伝説が伝わる。その概要は以下の通りである。その昔、天狗の万三郎の妻が天城の八丁池で七つの頭を持つ大蛇を目撃した。これを聞いた万三郎は八丁池の近くに強い酒の入った樽を七つ置いた。やがて現れた大蛇がこれを飲み、酔いが回り寝込んだところを万三郎は剣で大蛇の七つの首を全て切り落とした。すると大蛇の体は川となり、首の切り口は滝となり、河津七滝となった。

14:45 観光センター路線バスで帰られるチームを見送り、KWC車は「修善寺」へ

【修善寺】 16:00 到着

(HPから引用)

地図を手に 竹林小路はどちらかな？



修善寺は平安初期、大同二年(807年)、弘法大師が開創したと言われています。爾来1200年、伊豆国禪院一千東と正史にも記され、山懐に抱かれた、ゆるやかな時の中で北条氏、源氏の興亡を見守った伊豆を代表する名刹。伊豆八十八ヶ所霊場巡りの結願の札所でもあります。

このほど本堂が平成の大修復を完了し、平成19年に開創1200年祭を迎えました。

修善寺の宗派の変遷

修善寺の宗派は弘法大師の開基の真言宗から臨濟宗そして現在の曹洞宗に移り変わっていますが、昔は寺に宗旨があるのではなく、人に宗旨があったため簡単に宗旨が変わったことによるものです。これは、貴族が権勢を振るった平安時代から、武家が政治の実権を握った鎌倉時代へと時代が変わり、仏教も新しい時代にふさわしい禅宗を信仰する人々が増えたことも関係が深いものと考えられます。

久しぶりの修善寺、やはりマップが頼りになります。



(HPから引用)

温泉街の中心部を流れる桂川に沿う遊歩道。とこの湯から続く小径を歩いていくと、茶処や昔懐かしい火の見櫓が散策する人々の目を楽ませ、竹林の中央では大きな竹製の円形ベンチで風を感じることが出来ます。又、時期によりライトアップが行なわれ、温泉街の夜の散策を堪能できます。

修善寺参拝後、桂川を赤い橋「虎溪橋」を渡らず右折すると桂川に溪谷沿って歩き、



桂川に沿って溪谷を見ながら、次は竹林、モデルさんもピッタリ、素晴らしい散策でした。途中竹製の円形ベンチ有



ベンチ有

16:35バスに乗り帰途へ。しかし運転手さん情報では今日は日曜日、観光帰りの車で上り線渋滞でした。しかしバスの中では、ビールとおつまみが支給され、藤本さん昨夜の「地酒&おしゃべり」の残り日本酒を出して戴き、伊藤、神谷、持参のおつまみを提供しトイレも心配せず楽しく時間が過ぎました。戴いたビールはトイレ休憩直前に飲みセーフでした。約1時間遅れの20時半ごろ無事到着しました。藤本さんご苦労様で、深く感謝いたします。

編集後記：今年は神奈川地区が主体で担当。資料も詳しく準備され、本番では弁当、飲み物、案内役、大会の司会進行役を分担され、ご苦労様でした。新横浜加藤・藤本ペアの「伊豆の踊子&学生」姿で「天城越」案内され皆さんに感動を与え、青春時代を思い出させて戴きました。司会役もこのスタイルで会場を盛り上げて戴きました。更に帰りのバス、「地酒&おしゃべりチーム」の残銘酒を用意され、渋滞遅れを忘れさせて戴き、重ねて厚くお礼申し上げます。幹事役、リーダー、班長他の係を担当された皆さん、ウォーキング、大会、バス中、いろいろお世話になり有難うございました。併せてお礼申し上げます。

伊豆は柿田湧水群を含め数回来ているが、「七滝巡り」「大室山」丈は未体験でしたので参加しました。一番気がかりな天候に恵まれて、自然の山・滝・岸壁歩き、最高でした。

予備バッテリー未充電で気が付いたのも2日目後半でした。歩く所は事前にHPで調べて参加しましたが、充電器も持参しておりながら準備不足と前日寝る前のチェック不足で、2日目七滝巡り以降ウォーク写真が少なく、代わりにHPからの説明文が多くなり申し訳ありません。

いつものボケ防止用日記帳「メモと写真」です。誤記や失礼な記述があるかもしれませんが悪しからずお許しの程。説明文はHP他から引用しました。

【余白番外編】「河津七滝ループ橋」 ここを通りました（HPより引用）



直径 80m、総延長 1100m の巨大ならせん道路。ぐるとふた回りして、落差 45m の急傾斜を登り下りする。昭和 56 年 (1981)、国道 414 号の大滝・七滝温泉脇に完成。緑濃い山あいにはひととき目立つループラインは、七滝エリアの目印、名所となっている。